

【テーマの設定理由】 幼児期における英語の必要性、また英語を学ぶことで得られる物とは何か

- 【環境設定】
- ・ 週1回、専門講師の英語の時間を設ける（1回30分）
 - ・ 保育の中で、英語に触れる機会をつくる。（色、動物、食べ物など）
 - ・ 絵本や、パズル、歌やダンスなど視覚的、感覚的にもアプローチをしていく。
 - ・ 子どもが自ら発言したり挑戦できる場を作る。

1 学期

【子どもの姿】 4月～7月

入園して少し幼稚園の生活に慣れてきた。初回の英語のレッスンは15分に設定をし、ダンスや歌で楽しい雰囲気作りを心がけた。兄弟児がいる子は、「りんごは apple だよ！」など知っていることを発言する姿が見られた。

【子どもの反応】

- ・ 英語のレッスンでは2回目、3回目には「Whats your name?」と簡単な質問が始まった。緊張している様子の子もいたが、はりきって答える子がいたので、全員答えることが出来た。英語の時間に歌う曲を少しずつ覚えてきている。英語が楽しい時間となってきた。
- ・ 英語の講師が、英語のレッスン以外でも保育室に遊びに来てたことにより「Hello」と挨拶が出来る子が増えてきた。
- ・ 6月 レッソンの時間に「Color」や「Happy」や「Angly」「Sad」など単語や実用的な言葉の練習が出てきた。
- ・ 子どもと毎日動物や果物を英語でなんて言うのかをちょっとした時間にクイズをするようにした。毎日の習慣になり、覚えて発言する子も出てきた。



幼稚園にも慣れ、英語のレッスンではダンスや歌を交えて、楽しんでいます。

【振り返り】

- ・「Color」は比較的子どもに入りやすいようであったので、朝の会やちょっとした時間に、ゲーム感でいれてみた。 EX) 保育者が英語で色を言う⇒子どもはその色の物を探して触る。
- ・幼稚園の生活に慣れることが優先されたので1学期はダンスや歌を中心に英語に触れて、「もっとやりたい」「もっと知りたい」と思えるように保育者自身も楽しんで行うようにしてきた

2学期

【子どもの姿】 9月～12月

- ・夏休みの話など楽しかった事を積極的に話してくれる。
- ・友達同士での関わりが増え、会話を楽しむ姿が見られる。
- ・新しい事へ挑戦しようとする子が増えた。

【環境設定】

- ・英語で色が書いてあるサイコロを用意。
→お当番活動で前に出る時にサイコロを振って出た色を英語で答える。
- ・アルファベットのパズルを用意。
- ・英語のレッスンで使用するアルファベットのカードを借りる。
→クラスでも一斉でアルファベットを探すゲームを行う。



【サイコロを振って出た目の色を英語で答えます♪】



「アルファベットパズルをみんなで楽しみました☆」

【子どもの反応】

- ・1学期に引き続き「色」ほとんどの子が覚え、自信をもって英語で言えるようになった。
 - ・「そうは英語で elephant だよ！」や知っている単語を発言する姿が見られる。「私は rabbit 知ってる！」など子どもからの発言が増えた。自信がついたように思う。
 - ・9月に入り英語のレッスンでアルファベットの指導があった。保育室の教具としてアルファベットのパズルを提示。よく手に取り、遊んでいた。何人が協力しながら行う姿が最初は見られたが、段々と一人で完成させられる子が増えた。
- 英語のレッスンで使用していたアルファベットのカードを借りて、クラスでもアルファベットを探すゲームを行った。楽しみながら覚えられた。

・数字は1から10までをよく覚えた。何かを数える際には「英語で数えてみよう」とこちらから提案し身に着くようにしてきたので、ほとんどの子が自信を持って言えるようになった。

・10月はハロウィンの行事にスポットあてた。iPadで「ハロウィンってなあに？」という動画を見てみんなが学ぶ時間を作った。

制作でカボチャのおばけの絵画を作ったり、ハロウィン当日にはキャンディーを折り紙で作って「trick or treat!」のやりとりをして楽しんだ。

・12月にはクリスマスがあったので、クリスマスの絵本を読み楽しみになるようにした。雪だるまの制作をして「今年は雪降るかな〜?」「雪が降ったら冬だるま作ろう!」など、冬(季節)を感じることも出来た。



Trick or treat!!

アメを作ってみんなに配りました!



iPadを使用して「ハロウィンってなあに?」という動画を見て学びました!

【振り返り】

- ・アルファベットのパズルやカードは遊びながら身につくので自発的に行えて効果的であった。
- ・iPadを使用してのハロウィンの導入も分かりやすく、ハロウィンへの関心が高まったように思う。
- ・視覚的に伝えていくことが3歳児には有効。
- ・日常の保育にも織り交ぜて行うことで、英語が日常の中にあることが当たり前になる。自発的に話す子が増えた。

3 学期

【子どもの姿】 1月～3月

- 気の合う友達同士でイメージを共有して遊ぶ姿がある。
- 進級に向けて期待をもっている。
- 人前で発言する事に自信が付き、積極的に発言していた。

【環境設定】

- 2学期に引き続き、サイコロに英語で動物の名前が書いてあるものを用意。
→お当番活動で行った。
- お部屋でのグループを動物の名前（英語）で決めた。
- 世界地図の絵本（iPad で読み取り、その国の映像が映るもの）を自由に使えるように置いておく。
→世界の国に興味をもてるように。
- 保護者にむけた英語の参観もあるので、人前で英語を話す機会を多くつくる。

【子どもの反応】

- 動物は2学期に行ったもの以外の新しい物を教えたので、興味をもって行えた。
- 友達同士で英語を教え合う姿が多く見られた。
- 世界地図の絵本はとても興味津々で、iPad の操作の仕方もすぐに覚えた。
- 国に興味を示すというよりは、目新しい楽器や、動物の映像を好んで見ていた。
- 新しく覚えた単語を、みんなの前で発表する事に自信が付き、「やりたい!」「ぼく、わかるよ!」と張り切っていた。
- 自分の名前のアルファベットを覚えた。「A が書けるようになったよ!」など自らアルファベットを自由画帳に書く姿が見られた。



自分の名前、見つけれられるよ♪



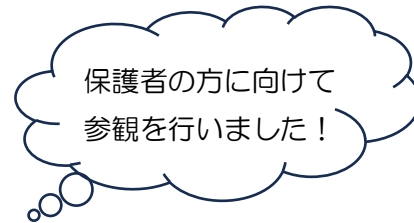
グループのマークを英語で表記しました。



英語のレッスンで行った事をお部屋でも♪

【振り返り】

- ・ 1. 2学期に引き続き英語のレッスンで行ったものをクラスでも行うことで定着した。
- ・ 新しい単語や会話はとても興味があり、覚えるのがはやくなった。
- ・ 世界地図絵本は視覚的に入るので、わかりやすかったようだ。気に入った国を何度も繰り返し見る様子があった。友達同士で、会話を楽しみながら見ていた。国の文化までは興味がなかった。



【保護者からの感想】～参観を終えて～

自信をもって英語を発言
していて驚きました！



家でも幼稚園で行った
英語を教えてください
ます。

【1年間を通して、振り返り】

- ・ 英語のレッスンでは、ダンスや歌を交えて行ってもらい英語が楽しい時間となった。また、楽しみながら身に着いた。
- ・ 英語のレッスンで行ったことをクラスでも行うようにした。より、英語の定着がはやかったように思う。
- ・ 英語の講師とも相談をしながら、少しずつレベルアップをしたり、ゲーム感覚で取り入れるようにした。
- ・ 年少児ということもあり、まずは身近な物の英単語を覚えられるように心がけた。
- ・ 「これは英語でなんて言うの？」や「英語で〇〇っていうんだよ」など子どもからの発言を大切にし、環境設定も考えてきた。
- ・ 飽きないように、新しい教具を出したり、興味のあるものをその都度提供するようにした。
- ・ 1年間通して行うことで、英語がより身近なものになった。今回身に着いたことを生かすために、年中児でも引き続き行うことが大切だと感じる。
- ・ 英語だけでなく、人前で話すことにも慣れ、クラス全体で自発的な発言が増えた。